

浦添市美術館開館30周年記念展・令和元年度第3期常設展

守り伝える 琉球王朝の美

— 沖縄県・浦添市指定有形文化財と名品 —

2020.1/26(日) ▶ 5/17(日)

開館 午前9時30分～午後5時
金曜日は午後7時まで、入館は30分前までとなっております。

休館日 毎週月曜日(2/24・5/4は開館)

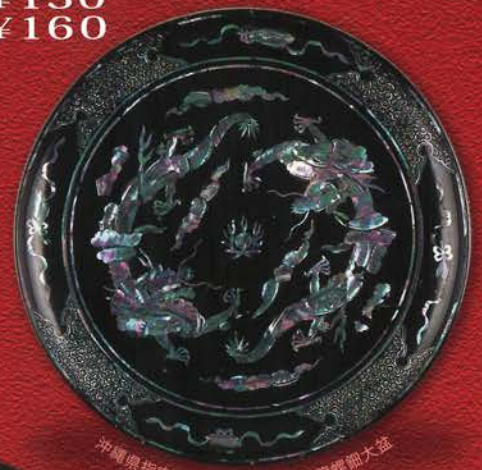
観覧 ■一般/¥200
■大学生/¥130
■65歳以上/¥160
※高校生以下は無料



浦添市指定有形文化財 黒漆花鳥螺鈿活絵漆器(漆器類)



浦添市指定有形文化財 朱漆牡丹屋長螺鈿漆器



沖縄県指定有形文化財 黒漆螺鈿螺鈿大盆



浦添市指定有形文化財 朱漆山水人物活絵螺鈿漆器



朱黒漆三巴紋漆器

浦添市美術館

浦添市市制施行50周年記念プレ事業・浦添市美術館開館30周年

記念シンポジウム

「浦添市美術館のこれからを語る」

日時 令和2年2月1日(土) 14時～17時半

場所 浦添市美術館 講堂

基調講演 ①

「浦添市美術館開館の理念や展覧会について」

◆宮城 篤正(初代館長・元沖縄県立芸術大学長・美術史研究者)

基調講演 ②

「世界に誇れる漆の美 ～日本・琉球の漆の特色～」

◆室瀬 和美(重要無形文化財「蒔絵」保持者(人間国宝))

シンポジウム

— 浦添市美術館のこれからを語る —

司会進行: 宮里 正子(浦添市美術館長)

- ◆室瀬 和美(基調講演者)
- ◆宮城 篤正(基調講演者)
- ◆前田 孝允
(漆芸作家(沖縄県指定無形文化財【琉球漆器】技術保持者))
- ◆四柳 嘉章
(友好館長(石川県輪島漆芸美術館長・漆芸研究者))
- ◆柴 二三夫
(浦添市立前田小学校前校長・浦添市美術館協議会委員)
- ◆浦添市長 松本 哲治

展示解説(ギャラリートーク)・見学案内

懇親会 会場: 花うるし

主催 浦添市美術館

浦添市美術館は、平成2年に日本初の漆芸専門美術館、沖縄初の公立美術館として開館し、令和2年2月1日に30年目の節目を迎えます。常設展示室では、16世紀から現代までの優れた琉球漆器を中心に日本やアジア諸国の漆芸品も含む100点余を展示してまいりました。開館当初200点余だった所蔵品は30年で約2,000件となり、その中から、県・市指定有形文化財と名品 89件を一挙展示し、これらの琉球王朝の美を未来へと守り伝える展示となっています。

各室テーマ

【第1室】 王国の歴史とともに

【第2室】 王国を支える品々

【第3室】 貝のきらめき

【第4室】 金の輝き・豊かな彩り

【第5室】 美術館の30年とコレクション

絵画コレクション

守り伝える琉球王朝の美 — 沖縄県・浦添市指定有形文化財と名品 —



浦添市指定有形文化財
緑漆鳳凰雲点斜格子沈金丸櫃



浦添市指定有形文化財
黒漆孔雀牡丹唐草沈金食籠



浦添市指定有形文化財
緑漆牡丹唐草石畳沈金膳



楽童子向兆麟の書(席)



浦添市指定有形文化財
黒漆二十四孝唐草螺鈿沈金八角食籠



朱漆牡丹唐草堆錦鞍

関連講座

①「琉球螺鈿に生かされて」
②「琉球の沈金について」
(仮) 3/1(日) 宮城清
3/22(日) 當眞茂

住所 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2

電話 098・879・3219 浦添市美術館 検索 museum.city.urasoe.lg.jp



浦添市美術館

URASOE ART MUSEUM

交通情報・地図

バスご利用の場合 ※いずれのバス停からも徒歩5分

那覇市外線バスターミナルより	首里鳥堀方面より
②1 ⑨0 ⑨8 ⑪2 大平バス停下車	⑨1 ①91 美術館前バス停下車
⑤⑤ ⑤⑥ 美術館前バス停下車	

自動車ご利用の場合

那覇空港から国道330号または国道58号を北(宜野湾方向)へ約12km

ゆいレールご利用の場合

ゆいレール【浦添前田駅】下車		ゆいレール【古島駅】下車	
バスに乗り換え	タクシーに乗り換え	バスに乗り換え	タクシーに乗り換え
⑤⑥ (浦添線)【美術館前バス停】下車	美術館まで 1.6km(約5分)	②1 ⑨0 ⑨8 ⑪2 大平バス停下車、徒歩5分	国道330号を北へ約3km

